

【Ⅱテモテへの手紙 1章】

「神が私たちに与えてくださったものは、おくびょうの霊ではなく、力と愛と慎みとの霊です。」(1:7)

力・愛・慎みについて考えてみましょう。

テモテはまだ若くおそらく、牧師としてリーダーシップを発揮できず臆病で、身体的な病を患っていたようです。その様なテモテにパウロは手紙を通して語り掛けています。「臆病ではなく、力と愛と慎みの霊です。」と。イエス・キリストを信じる者には、聖霊が宿り、それは使徒1:8「聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは**力**を受けます。」とあります。この「力」はダイナマイトのような霊の壁を打ち砕く力、福音を語る力、神の語られた事を行う力です。それを封じ込めているものが「おくびょう」の霊でしょう。イエス・キリストを信じる者には大胆で勇敢な世に勝って余りある霊が注がれている事を思い起こさせています。

また、聖霊は力であるとともに、**愛**です。これは神の愛で、友の為に命をも捨てる愛、自己犠牲の愛、受けるよりも与える方が幸いな愛、また敵をも赦す愛です。私達人間には本来持ち合わせていない愛です。神様は「愛を追い求めなさい〜」(Iコリント14:1)と言われ、私達に愛を求めることを勧めておられます。また「**慎み**」とは「**自制**、すなわち聖霊の実**「愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制**」を結びなさいと言われています。**慎み**とはこの自制と言ってもよいでしょう。自分勝手な思いではなく、聖霊様のみ思いを知り行う時に、自分を捨てて十字架を負うことが導かれるでしょう。

聖霊のパプテスマは信じて初めて聖霊に満たされることを言います。イエス・キリストを心の中心にお迎えしている時は平安と愛と喜びがありますが、私達肉なる者ですから、いつの間にかイエス・キリストから目を離し、現実を見たり、自分自身を見たり、常識の世界で物事を考えたり、信仰とは別の尺度を持って思い考えてしまいがちなものです。ヘブル12:2「信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないでいなさい。」そしていつも聖霊に満たされていることが出来ますように！

救いも、癒しも、解放も、奇跡も全て聖霊様のなさるわざです。私達の力とか、才能が神様の働きに用いられることは勿論ありますが、さらに神様が下さる聖霊によって神の栄光は表れてきます。『権力によらず、能力によらず、わたしの霊によって』(ゼカリヤ書4:6) それは人が崇められるためではなく、神様が崇められるためです。私達は神様に言われたことに聞き従う中で聖霊に満たされ、求めることで満たされ、聖霊による語らきの中で神様の栄光を表してゆきましょう。

3/25~3/30は恒例の「感謝と賛美のリバイバルキャンプ」がアメリカのロスアンジェルスで持たれます。行ける方だけではなく、日本でとりなしていく方もまた、日々が感謝と賛美のリバイバルを体験するためにも、なおなお聖霊に満たされて、神様に語られていることをないがしろにせず、聞き従ってゆきましょう。

* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意ください。
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:D大重 勝裕

SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2013.3.10 No.727

今年のみ言葉

天よ。耳を傾けよ。私は語ろう。
地よ。聞け。私の口のことばを。
私のおしえは、雨のように下り、
私のことばは、露のようにしたたる。
若草の上の小雨のように。
青草の上の夕立のように。

私が主の御名を告げ知らせるのだから、

栄光を私たちの神に帰せよ。

主は岩。主のみわざは完全。まことに、主の道はみな正しい。
主は真実の神で、偽りがなく、正しい方、直ぐな方である。

申命記32:1~4



主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://tlccfrh.astone-blog.jp/>